i-PRODUCTS アイプロダクツ by Noritake itron

i-Catch Roll TCP Linker

アイ・キャッチロール TCP リンカー

型名：　IPD-011-LBSL

取扱説明書

本製品の使い方全般を説明しています。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

● ご使用の前に「安全にお使いいただくために」（4 ページ）を必ずお読みください。

● この取扱説明書は、いつでも見ることができるところに必ず保管してください。

もくじ

- **もくじ** 2
- **保証・免責事項** 3
- **重要なお知らせ** 3
- **安全にお使いいただくために** 4
- **設置環境** 6
- **廃棄について** 7
- **付属品の確認、各部の名称** 7
  - 付属品 7
  - 各部の名称 7
- **製品概要** 8
- **基本操作の流れ** 8
- **表示ユニットの設置、準備** 9
- **iCR Link TCP Editor のインストール** 10
- **表示ユニットデータの作成、編集** 11
- **表示ユニットデータの書出し、本機への登録** 13
- **外部制御機器からの表示切り替え、表示例** 14
- **画像ファイルの作成例及び、登録方法** 15
- **ＬＡＮの設定** 16
- **お手入れのしかた** 20
- **お問い合わせ先** 20
- **主な仕様** 21

保証・免責事項

●保証事項
本書に付属されている保証書が、ノリタケ伊勢電子株式会社の唯一の保証となります。

●免責事項
・本書に記載された指示事項を守らなかったり、設定やお手入れにおいて、注意または配慮をしないで生じた損害に対して、弊社は一切の責任を負いません。
・本製品の乱用、誤使用、用途の誤りなどが原因の直接および間接損害、またはその他の損害について、弊社は一切の責任を負いません。
・本製品の改造が原因の損害または傷害に対して、弊社は一切の責任を負いません。
・付属品、消耗品の使用により生じた本製品の故障や間接損害に対して、弊社は一切の責任を負いません。
・通信障害やシステム障害による情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客さまの損害について責任を負いません。

重要なお知らせ

●本製品の意図した用途
本製品は、専用のアプリケーションソフトで作成したメッセージを表示するための装置です。
本製品の仕様は、21 ページの「主な仕様」を参照ください。
意図された目的以外で本製品を使用したり、安全指示および事故防止事項にしたがわないと、以下の危険を生じることがあります。
・あなたの健康への危険
・本製品の破損

●本製品を安全に使用していただくための事項
・本製品を使用する前に、本書に記述されている内容を十分にご理解ください。
・本製品の設置・操作・設定・お手入れ作業は、本製品の基本的な知識を習得した人が行ってください。
・関連する国および行政機関の法令や規則を守ってください。
・事故を防止するため、本来の意図された目的以外の使用や、本書に記載している以外の操作、お手入れの作業はしないでください。
・本製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万が一、故障または不具合があったり、本製品内部の点検・修理を行う際は、お買い上げの販売店または弊社連絡先までご連絡ください。（20 ページの「お問い合わせ先」参照）

●取扱説明書に関する事項
・本書は、i-Catch Roll TCP Linker の取扱説明書です。
・本書は弊社が版権を有しています。本書を含む図面および技術文書のいかなる箇所も弊社の事前の同意書なしに、複写、電子媒体など、どのような方式であっても複写することはできません。
・本書に記載されている写真や図は、実際の機械とは異なる場合があります。
・本書に記載されている数値は、お客様の環境などにより実際の数値と異なる場合があります。
・本書を紛失、または損傷した場合、再発行はできませんので、大切に保管してください。本書がない状態での本製品の使用は、事故発生の原因になります。
・本書、本製品および付属品は、改良のため予告なく変更することがあります。
・本製品を譲渡される場合は、次の所有者に本書を必ず渡してください。
・Microsoft、Windows、Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくため、本書では「⚠警告」「⚠注意」「注意」の 3 種類で危険度のレベルを区分けし、以下のシンボルマークを用いて安全上の注意事項を記載しています。

シンボルマークの意味　（図記号の一例です。）

- 気をつける必要があることを表しています。
- してはいけないことを表しています。
- しなければならないことを表しています。

警告

「⚠警告」は、回避しないと、死亡または重症を招く可能性がある潜在的な危険状態を示します。

■電源について

電源コードを傷つけない。引っ張らない。無理に曲げない。本製品や重いものの下敷きにしない。加熱しない。加工しない。また、熱器具に近づけない。電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。

電源は、AC100V(50/60Hz) のコンセントを使用する。指定以外の電源を使用すると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り始めたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて電源を切る。火災や感電の原因となります。

発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常が起きたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜き電源を切る。異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。お買い上げの販売店または弊社連絡先までご連絡ください。

機器を落としたり、キャビネットを破損したときは、電源プラグをコンセントから抜き電源を切る。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買い上げの販売店または弊社連絡先までご連絡ください。

電源プラグの刃や刃の付近に、ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜いて乾いた布で取り除く。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

■水ぬれについて

内部に水や異物が入ったときは、電源プラグをコンセントから抜いて電源を切る。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買い上げの販売店または弊社連絡先までご連絡ください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電の原因となります。

本製品に水がかかったときは、電源プラグをコンセントから抜いて電源を切る。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買い上げの販売店または弊社連絡先までご連絡ください。

■異物混入、分解、改造について

クリップやピンなどの異物を機械の中に入れない。火災や感電の原因となります。

本製品を分解、改造しない。内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の原因となります。内部の点検、修理はお買い上げの販売店または弊社連絡先までご連絡ください。

■設置について

航空機、原子力設備、生命維持にかかわる医療機器などの高度な信頼性を必要とする設備への使用はできません。

ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所で使用しない。腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境で使用しない。火災の原因となります。

本製品に水がかかるような場所に設置しない。ぬらしたりしない。火災や感電の原因となります。本製品の近くに花びんなど、水の入った容器を置かないでください。風呂やシャワー室では使用しないでください。エアコン等、水を排出する機器にも注意してください。

屋外では使用しない。やむを得ず屋外で使用する場合は、風雨の影響を受けない場所に置く。発熱、発火、感電の原因となります。

⚠注意

「⚠注意」は、回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招く可能性がある潜在的な危険状態を示します。

■電源について

電源コードは、必ず付属のものを使用する。
付属以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから容易に抜き差しできる状態で使用する。

電源プラグは、コンセントに直接差し込む。
タコ足配線をすると、過熱により火災の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると感電の原因となります。

火災や感電を防ぐために、次のことを守る。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめてお買い上げの販売店または弊社連絡先までご連絡ください。

移動するときは、電源プラグをコンセントから抜く。
コードが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
電源コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。

■設置について

直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しない。
発熱や発火の原因となることがあります。

ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かない。強い衝撃や振動を与えない。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

うつ伏せ、あお向け、逆さまにして使用しない。
熱がこもり、発熱や発火・故障の原因となることがあります。

風通しの悪いところに置いたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、布などをかけたりしない。
通風を妨げると内部に熱がこもり、故障や発熱、発火の原因となることがあります。

■使用上の注意について

上にものを置いたり、上に乗ったりしない。
倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。

ものを引っ掛けたりしない。
倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。

表示ユニットを強く押したり、衝撃を与えたりしない。
表示ユニットに力が加わると、破損や故障、けがの原因となることがあります。

硬いものでこすったり、たたいたりしない。
破損してけがの原因となることがあります。

■お手入れについて

付着したほこりやゴミはこまめに取り除く。
ほこりがたまると、発熱や発火・故障の原因となることがあります。

注意

「注意」は、回避しないと、物的損害を引き起こす可能性がある潜在的な危険状態を示します。

■電源について

電源コードの抜き差し（切 / 入）は必ず 5 秒以上の間隔をあける。間隔が短いと、故障や誤動作の原因となります。

■使用上の注意について

同じ画像は表示させない。焼き付け現象が起こる場合があります。定期的に表示内容を変えてください。

電波障害に関するご注意

この装置は、クラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

本書に従って正しい取り扱いをしてください。
※ 本製品をラジオ、テレビジョン受信機などから十分に離してください。
※ 本製品とラジオ、テレビジョン受信機などを別のコンセントに接続してください。

設置環境

●電磁波妨害に注意してください
・本製品の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、表示が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

●周囲温度は 0℃～ 40℃の範囲内でご使用ください
低温になる部屋（場所）でご使用の場合
・低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や故障の原因となります。

●屋外では使用しないでください
・やむを得ず屋外で使用する場合は、風雨の影響を受けない場所に置いてください。

●直射日光・熱気は避けてください
・異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
・キャビネットや部品に悪い影響を与えますので直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。
・急激な温度差がある部屋（場所）では使用しないでください。
・急激な温度差がある部屋（場所）で使用すると、表示品位が低下することがあります。

●結露（つゆつき）について
・本製品を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房などで室温が急に上がったときなど、本製品の表面や内部に結露が起こる場合があります。結露が起きた場合は、結露がなくなるまで電源を入れないでください。故障の原因となります。（結露を防ぐためには、徐々に室温を上げてください。）

●使用が制限されている場所
・航空機の中など、使用が制限または禁止されている場所では使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

廃棄について

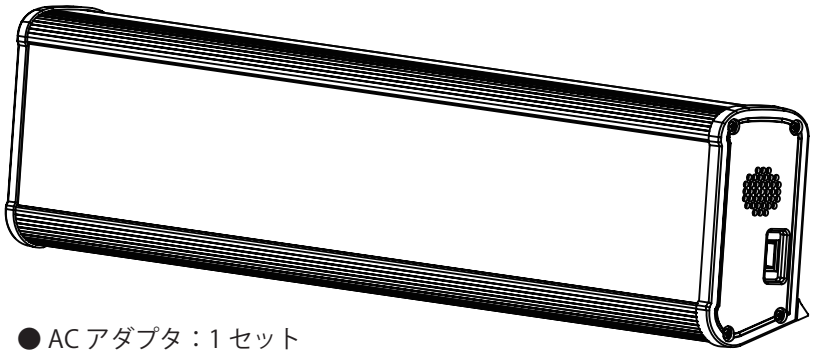
本製品を廃棄する際は、国の定めた廃棄ルールに従って廃棄してください。

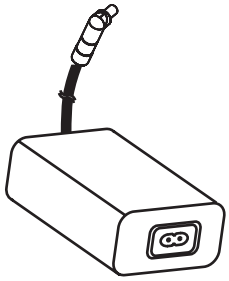
付属品の確認、各部の名称

付属品

万一、不足のものがありましたら、販売店にご連絡ください。

●表示ユニット





AC アダプタ（付属）

電源コード（付属）

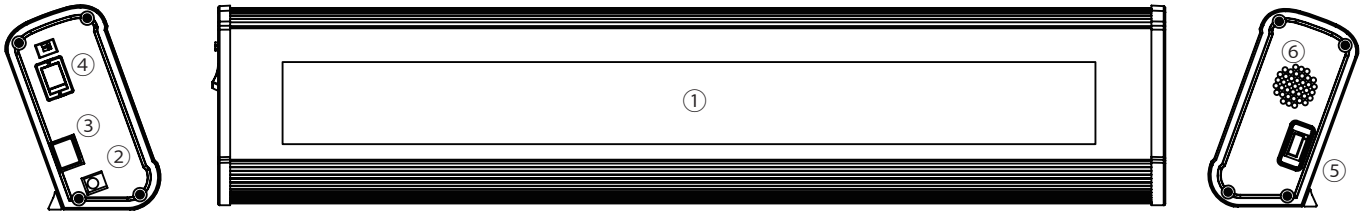
● AC アダプタ：1 セット

●保証書

※取扱説明書、メッセージ編集・登録用のアプリケーションソフト（Excel ファイル）は、製品 Web サイトよりダウンロードください。

ご注意 お買い上げいただいた製品の箱と緩衝材は保管していただくことを推奨いたします。

各部の名称



①表示部　②電源接続端子　③ LAN 入力端子　④電源スイッチ　⑤ USB 端子（使用しません）
⑥スピーカー穴 (使用しません。本製品にスピーカーは搭載していません。)

製品概要

●「i-Catch Roll TCP Linker」本製品　製品概要

・LED バックライト搭載の蛍光表示管を使用した、メッセージイルミネーション電光掲示板です。
・電源は AC100V 入力の電源アダプタを使用します。本製品自体は DC24V 駆動です。
・ネットワークに接続された外部制御機器により、専用ツール（エクセル）で予め登録した文字や画像の切替表示を行います。

基本操作の流れ

表示ユニットを設置

表示ユニットの設置、電源、制御装置とＬＡＮケーブルの接続を行います。
表示ユニット設置については、9 ページの「表示ユニットの設置、準備」を参照ください。

専用編集・登録 Excel ファイル「iCR TCP Link Editor」にて表示ユニットデータの編集

付属の専用編集・登録 Excel ファイルにて表示ユニットデータの編集を行います。選択コードに応じた、それぞれの表示内容の編集を行います。
編集方法については、11 ページの「表示ユニットデータの作成、編集」を参照ください。

付属の専用編集・登録 Excel ファイル「iCR TCP Link Editor」をお手元のパソコンのいずれかの場所にコピーし、表示ユニットデータを編集します。

表示ユニットへの表示ユニットデータの書出し（登録）

付属の専用編集・登録 Excel ファイルにて表示ユニットデータの編集後、ネットワーク経由で表示ユニットデータの登録を行います。
14 ページの「表示ユニットデータの書出し、本機への登録」を参照ください。

運用開始

外部制御機器（ＰＬＣ等）から、バンク、選択コードの２バイトコマンドを送信し、表示の切り替えを行います。

表示ユニットの設置、準備

警告

- **電源は、AC100V(50/60Hz) のコンセントを使用してください。指定以外の電源を使用すると、火災の原因となる場合があります。**

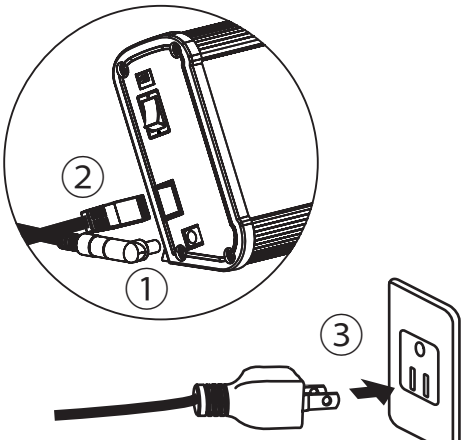
注意

- **電源コードは、必ず付属のものを使用してください。付属以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。**
- **電源コードの抜き差し（切 / 入）は必ず 5 秒以上の間隔をあけてください。間隔が短いと、故障や誤動作の原因となります。**
- **設置、移動の際は、本体底面部を持ってください。落下したりしてけがの原因となることがあります。**
- **表示部を強く押したり、衝撃を与えたりしないでください。表示部に力が加わると、破損や故障、けがの原因となることがあります。**

電源・LAN 接続を行います。

① AC アダプタ（付属）の電源コードを電源接続端子に差し込みます。
②ネットワークに接続された LAN ケーブルを LAN 入力端子に接続します。

③電源コード（付属）のプラグをコンセントに差し込み、スイッチを入れます。電源が入ると、バージョン表示が表示され、その後は何も表示されません。



ご注意
- 本製品は水平面に対し垂直に設置してください。
- 本製品は周囲温度 0℃～ 40℃の範囲内でご使用ください。
- 熱がこもるのを防ぐため、周囲の空間を確保してください。
- 発熱する機器の上に本製品を置かないでください。

LAN 接続について

- 固定 IP アドレスの設定が必要です。
- LAN ケーブルはパソコンと直接接続する場合はクロスケーブル、HUB 等と接続する場合はストレートケーブルを使用してください。またカテゴリー 5 以上のケーブルを使用してください。
- 社内 LAN に接続する際は、必ずネットワーク管理者に確認ください。

iCR TCP Link Editor のインストール

●アプリケーションソフト「iCR TCP Link Editor」概要

本製品の表示に必要な、表示編集・設定を Excel アプリケーションソフトにて行います。
選択コードの状態に合わせた、テキスト編集、画像編集、背景色設定が最大 1000 通りできます。

ご注意 本エディターを利用して著作権の対象となっている著作物を複製、編集することは、著作権法上、個人的にその複製物や編集物を使用する場合に限られます。このような利用方法はお控えください。
また、写真の画像データ、映像などを利用する場合は、上記著作権侵害となります。

●アプリケーションソフト「iCR TCP Link Editor」動作条件

OS	CPU	主記憶メモリ	Microsoft Excel	ハードディスク空き容量	ディスプレイ
Windows 7 日本語版	OS のシステム条件に準じる。		Excel 2010 以上	100MB 以上	1024x768 以上
Windows 8 日本語版	OS のシステム条件に準じる。				
Windows 10 日本語版	OS のシステム条件に準じる。				

●アプリケーションソフト「iCR Link Editor」のインストール

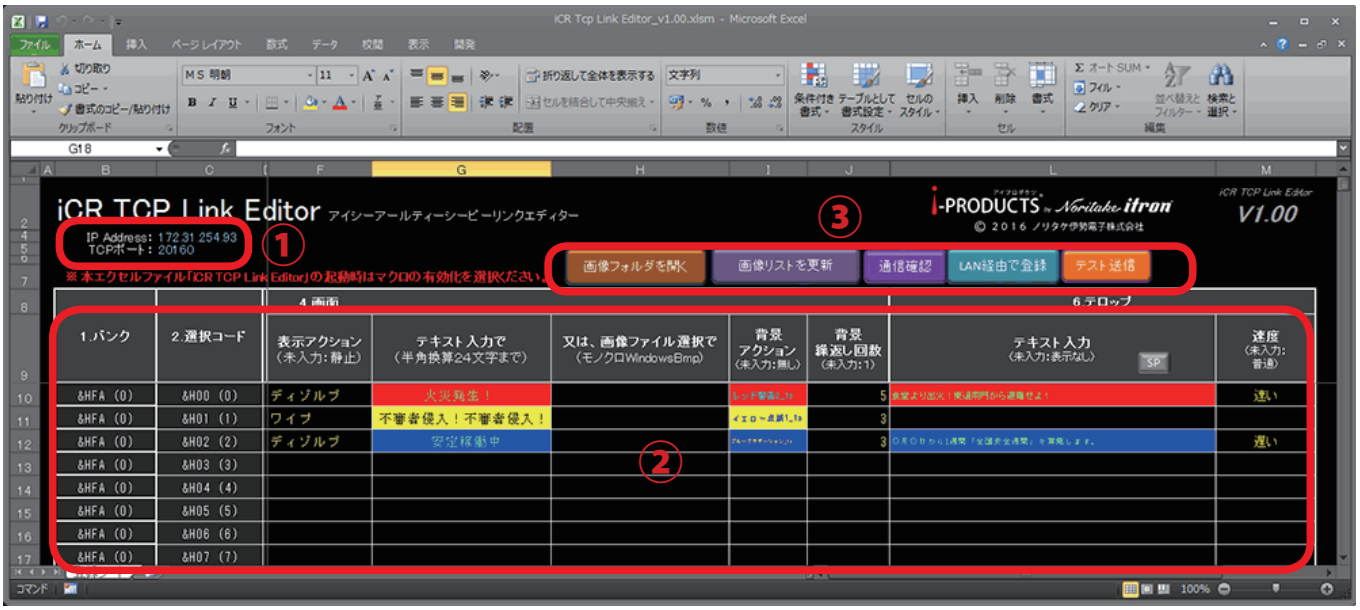
ご使用のパソコンの使用環境などにより、説明内容、画面と実際の内容、画面が一致しないことがあります。あらかじめご了承ください。

①専用編集・登録 Excel ファイル「iCR TCP Link Editor」及び「bmpfiles」が入った iCR TCP Link Editor フォルダーをお手元のパソコンのデスクトップまたは任意の場所にコピーします。

●アプリケーションソフト「iCR TCP Link Editor」画面説明

「iCR TCP Link Editor」を開くと下図のような画面が表示されます。

ご注意 本エクセルファイルはマクロの有効化が必要です。



①：アドレス設定　**ＩＰアドレス**　本体ＩＰアドレスの値を入力します。
ＴＣＰポート　本体ＴＣＰポートの値を入力します。

※表示ユニットへのＩＰアドレス、ＴＣＰポートの設定は、１６ページ以降「ＬＡＮの設定」参照ください。

②：編集　**入力ポート**　外部制御機器（PLC 等）からの入力状態に合わせ、それぞれの内容を編集します。
画　面　テキスト表示入力または画像表示を行います。
テロップ　「４．画面」にて設定した内容の表示後、スクロール表示にてテロップ表示を行います。

③：各種登録　**画像フォルダーを開く**　画像表示を行う画像ファイルを登録する際に使用します。
画像リストを更新　新たに登録した画像ファイルを使用できるようにします。
通信確認　本体との通信確認を行います。
LAN 経由で登録　編集したデータを本体へ登録します。
テスト送信　任意のデータを表示させます。

表示ユニットデータの作成、編集

各入選択コードに応じた表示内容の設定を行います。

1．バンク

250 以上のメッセージが登録が必要な場合、バンクを切り替えることによって 1000 までメッセージの登録が可能です。

2．選択コード

外部機器から入力するコードです。

1.バンク	2.選択コード	4.画面 表示アクシ（未入力:静
&HFA (0)	&H00 (0)	ディゾルブ
&HFA (0)	&H01 (1)	ワイプ
&HFA (0)	&H02 (2)	ディゾルブ
&HFA (0)	&H03 (3)	
&HFA (0)	&H04 (4)	
&HFA (0)	&H05 (5)	
&HFA (0)	&H06 (6)	
&HFA (0)	&H07 (7)	
&HFA (0)	&H08 (8)	
&HFA (0)	&H09 (9)	

4．画面

各バンク、選択コードに応じた表示内容の編集を行います。

4.画面 表示アクション（未入力:静止）	テキスト入力で（半角換算24文字まで）	又は、画像ファイル選択で（モノクロWindowsBmp）	背景アクション（未入力:無し）	背景繰返し回数（未入力:1）	
ディゾルブ	火災発生！		レッド警告2_1s	5	食堂
ワイプ	不審者侵入！不審者侵入！		イエロー点滅1_1s	3	
ディゾルブ	安定稼働中		ブルーグラデーション_1s	3	○月○

内容	設定値	仕様
表示アクション	静止（初期値）	静止表示します。*1
	ディゾルブ	ディゾルブ（ランダム）表示します。*1
	ブリンク	ブリンク（点滅）表示します。*1
	ワイプ	ワイプ（カーテン）表示します。*1
テキスト入力	任意テキスト入力及び背景色設定	任意でテキスト入力を行います。 ・表示は左寄せで最大 12 文字入力できます。 ・セルの色を変えることにより、表示画面の背景色（静止）となります。
画像ファイル入力	予め登録済みの画像ファイル選択	テキスト入力の代わりに画像表示を行います。 ・予め登録した BMP ファイルを選択します。 ・セルの色を変えることにより、表示画面の背景色（静止）となります。 ・テキストと同時に表示することはできません。
背景アクション	各背景アクション選択 初期値：無し	点滅、グラーデーション表示等、動きのある背景アクション設定を行います。各アクション名後の数値（1s 等）はアクション表示時間を示します。
背景繰返し回数	各背景アクション繰返し回数設定　初期値：1	背景アクションの繰返し回数を設定します。*2

*1、1s、3s 等の数字はアクション後の静止表示の保持時間を示します。、また表示アクションで設定された表示時間経過後に、背景アクション表示、テロップ表示に移行します。

*2、背景繰返し回数で設定された繰返し回数表示後にテロップ表示に移行します。

ご注意 画像ファイル入力可能数、及び背景アクション設定可能数には制限があります。制限をオーバーした場合は、警告表示でお知らせします。

６．テロップ

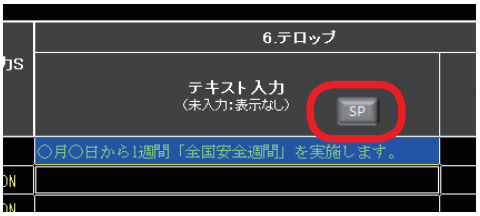
テロップ表示を追加できます。

内容	設定値	仕様
テキスト入力	任意テキスト入力及び背景色設定	任意でテキスト入力を行います。 ・セルの色を変えることにより、表示画面の背景色（静止）となります。 ・左へスクロールアウトさせる場合は、文字列の後に、12 文字分のスペースを入れます。
速度	速い	テロップ表示速度を設定します。
	普通（初期値）	
	遅い	

設定された表示時間、背景アクション繰返し回数にて画面表示（テキストまたは画像表示）が終了後に、テロップ表示が開始されます。その後、画面表示に戻り繰返し表示となります。

６．１　テロップ便利機能

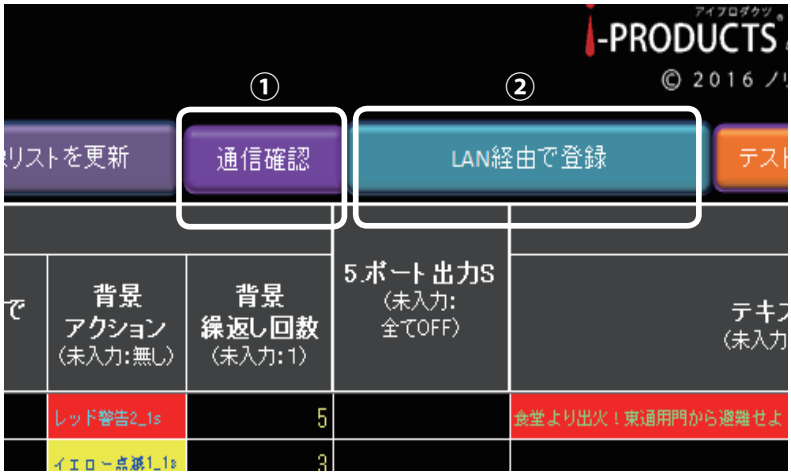
テロップ入力セルにカーソルを合わせた状態で、″ＳＰ″ボタンを押すと文章の後ろに１画面（１２文字）分のスペースが自動挿入されます。
テロップをスクロールアウトさせたいときに便利な機能です。

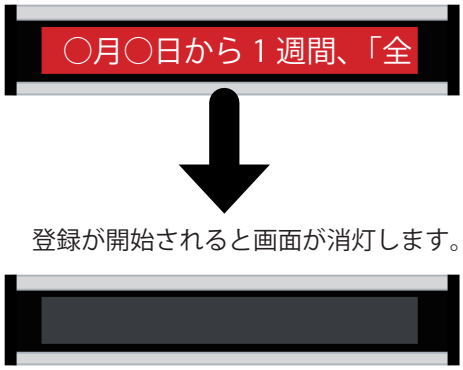


表示ユニットデータの書出し、本機への登録

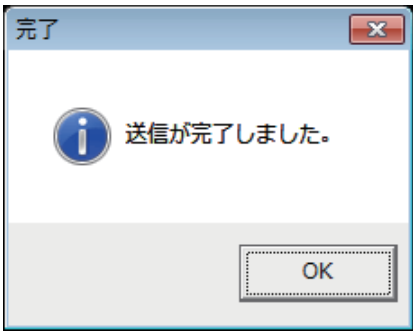
表示ユニットデータの編集後、LAN 経由で本体にデータの登録を行います。

①必要に応じて「通信確認」を選択し、本体との通信確認を行います。
②「LAN 経由で登録」を選択します。（登録するデータ量に応じて登録時間が長くなる場合もあります。）





登録が開始されると画面が消灯します。

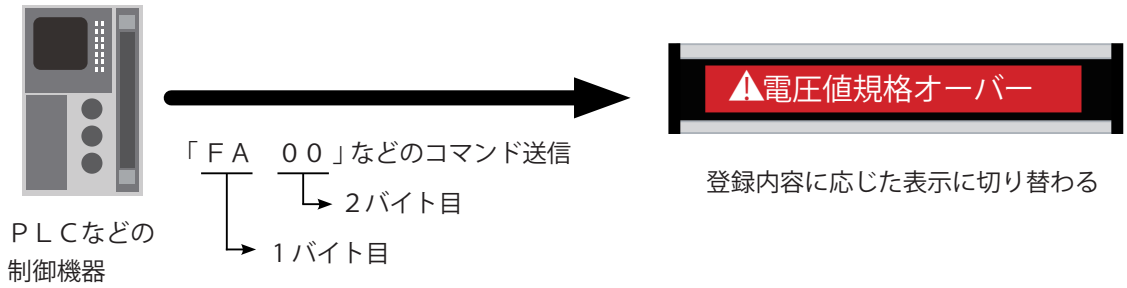


③登録に成功すると「送信が完了しました。」と表示されます。

④登録後は、テスト送信で登録内応の確認が可能です。
　テスト送信したい行をクリックします。
⑤「テスト送信」ボタンを押すと表示ユニットの表示が切り替わります。

外部制御機器からの表示切り替え

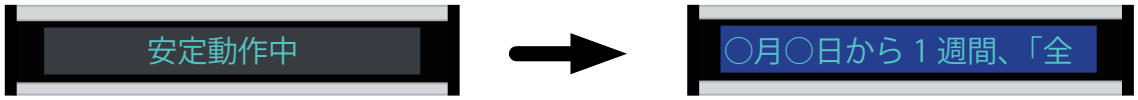
バンク、選択コードの２バイトのコマンドを送信し、表示の切り替えを行います。

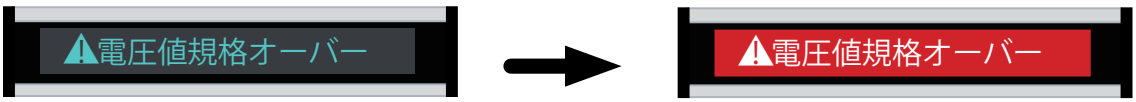


表示例

1.バンク	2.選択コード	4.画面					6.テロップ	
		表示アクション（未入力:静止）	テキスト入力で（半角換算24文字まで）	又は、画像ファイル選択で（モノクロWindowsBmp）	背景アクション（未入力:無し）	背景繰返し回数（未入力:1）	テキスト入力（未入力:表示なし） SP	速度（未入力:普通）
&HFA（0）	&H00（0）	静止_5秒	安定動作中				○月○日から1週間「全国計金週間」を実施します。	普通
&HFA（0）	&H01（1）	ディゾルブ_3秒		⚠ 電圧値規格オーバー	レッド警告2_1s	3		

上図のように設定した場合の動作は下記の通りになります。

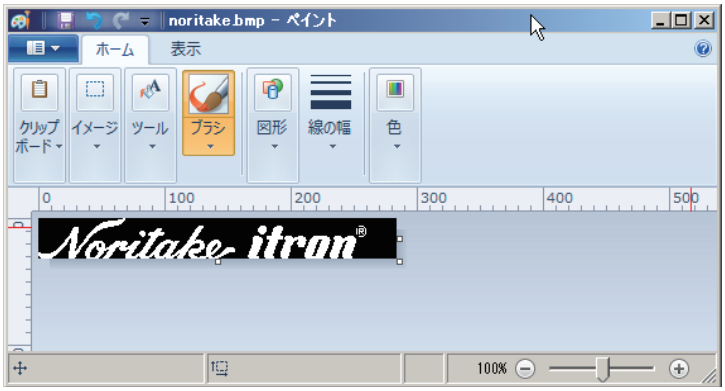
送信コード	表示内容
&HFA &H00	 静止５秒間表示　　その後、青色背景＋スクロール表示 繰返し ・上記条件で、背景アクションを設定した場合、背景色無しで５秒静止表示後、背景アクション開始となります。

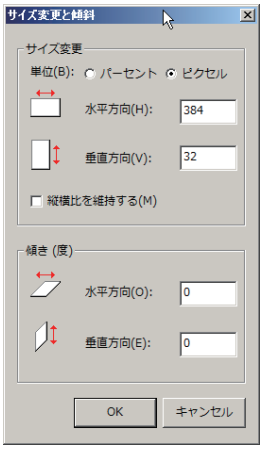
送信コード	表示内容
&HFA &H01	 ディゾブルアクションで表示開始　　その後、赤色背景で点滅

画像ファイルの作成例及び、登録方法

画像ファイル（BMP データ）の作成方法例

画像ファイルの作成は描画ツールを利用して作成します。
ここでは一般的な「ペイント」ツールを利用した場合で説明します。



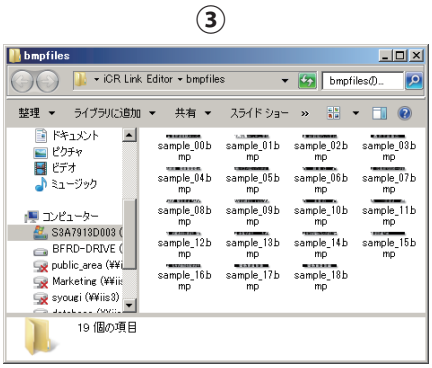


①画像ファイルは縦 32 ピクセル、横は 384 ピクセルで設定。
②色は白黒
③単位はピクセル
④光る部分は白、光らない部分は黒で作成ください。（黒色で光る部分を作成し、最後に「色の反転」で反転）
⑤画像データ作成後、上記の通り、画像ファイルのインポートを行います。

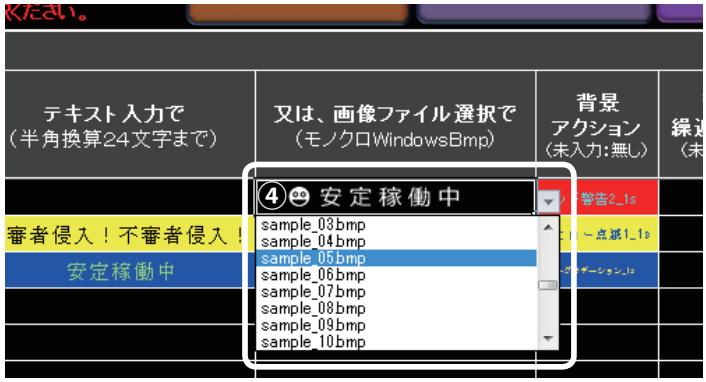
ご注意 表示ユニットのピクセル形状の縦横比の違いにより、作成したイメージは縦長に表示されます。同等のイメージで表示したい場合は縦横比（約 1.3：1）で作成ください。

画像ファイル（BMP データ）の登録

表示に使用する画像ファイルを登録します。



①「画像フォルダーを開く」をクリックします。
②画像フォルダー「bmpfiles」が自動的に開きます。登録したい画像ファイルをコピーします。
③最後に、「画像リストを更新」をクリックします。



④新たに追加した画像がメニューに表示されることを確認します。

LAN の設定

LAN の設定　～固定 IP アドレス設定～

表示ユニットの LAN 設定

LAN による通信モードを使用して、表示ユニットデータの登録を行う場合、本機の LAN 設定（固定 IP アドレス、RS-232 及び、TCP ポートの設定）が必要です。

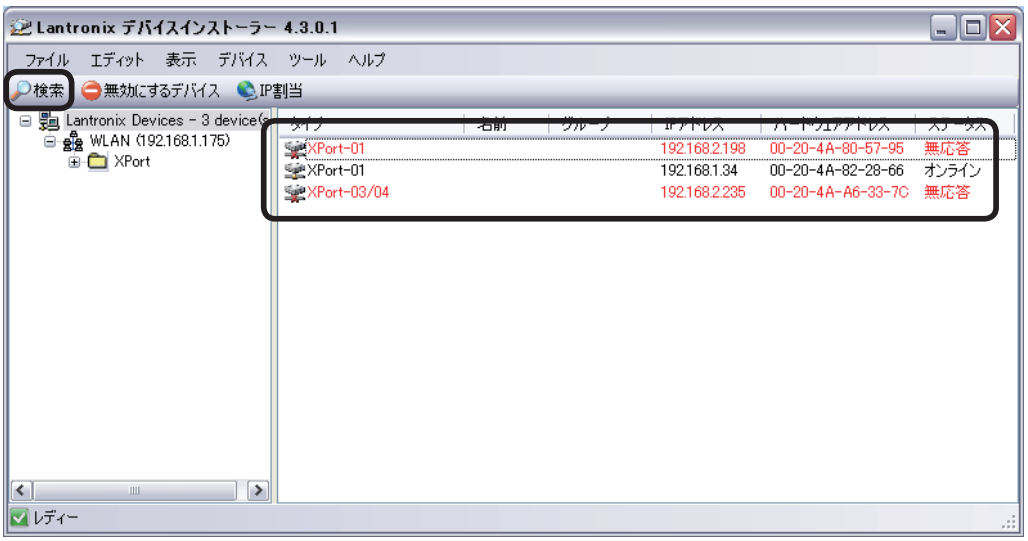
本機の表示コントローラには LANTRONIX® 社製の XPort® が使用されております。LAN の設定には LANTRONIX® 社より配布されております、「DeviceInstaller™」を使って設定してください。

ご注意
- LAN ケーブルはパソコンと直接接続する場合はクロスケーブル、HUB 等と接続する場合はストレートケーブルを使用してください。またカテゴリー 5 以上のケーブルを使用してください。
- 表示ユニットごとにパソコンと LAN で接続し、IP アドレス変更をした後に、ネットワーク上に接続してください。
- ネットワークに表示ユニットを接続後、同一ネットワーク上にあるパソコンから ping などの接続確認で表示ユニットの接続を確認したうえで、設置するようにしてください。
- 表示ユニットの IP アドレス・サブネットマスク・ゲートウェイの設定の際には、接続するネットワークの管理者と必ず相談のうえ、ネットワークにつながっているほかの機器の IP アドレスと同じにならないよう、的確な IP アドレスを設定するようにしてください。誤った内容を設定した際、表示器を認識できなかったり、接続したネットワークに障害をもたらす恐れがあります。
- ネットワーク障害などが起こった場合において、弊社では保証いたしません。お客様の責任においておこなうようにしてください。

「DeviceInstaller™」による設定方法　～固定 IP アドレスの設定～

①インストールした DeviceInstaller™ を起動

②「検索」ボタンをクリックすると、同じネットワーク上に接続されている XPort® が検出されます。



ご注意 出荷時設定は、DHCP サーバから IP アドレスやサブネット・マスク、デフォルト・ゲートウェイを自動取得するようになっています。

「DeviceInstaller™」による設定方法　～固定 IP アドレスの設定、続き～

③設定したい XPort® を選択し「IP 割当」ボタンをクリックしますと、「IP アドレスの割当」画面が表示されます。

④「特定 IP アドレス割当」にチェックを入れ、「次へ＞」をクリックします。

⑤各項目を入力します。入力後「次へ＞」をクリックします。

⑥問題なければ「割当」を押し設定します。

⑦「完了」を押して終了します。

ご注意

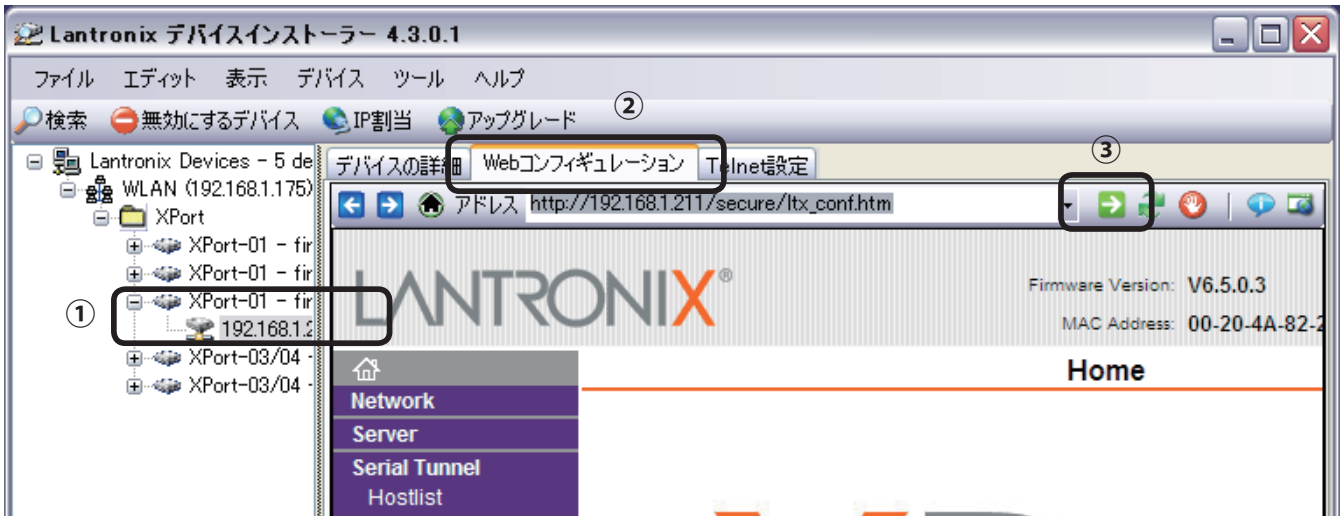
DHCP の無い環境でお使いの方は、「検索」ボタンで検索できません。XPort® の選択無しで「IP 割当」の画面から直接ハードウェアアドレス（MAC）と IP アドレスを入力することで設定できます。

ハードウェアアドレスは本体上のラベルに記載されている 12 桁の英数字で構成されているアドレスです。

ハードウェアアドレスを入力して「次へ＞」をクリックしますと IP アドレス等入力画面に移り、その後は同様の操作にて設定します。

LAN の設定　～ RS-232 ポート設定～

「DeviceInstaller™」による設定方法　～ RS-232、TCP ポートの設定～



① 「DeviceInstaller™」上の設定したい XPort® を選択します。

② 「Web コンフィギュレーション」ボタンをクリックします。

③ 「ナビゲート」ボタンをクリックしますと、ユーザー、パスワード入力画面が表示されます。ブランクのまま「OK」をクリックしてください。（必要に応じて、ユーザー、パスワードは後ほど設定ください。）

④ Web コンフィギュレーション画面が表示されます。

RS-232 ポートの設定

① 「Serial Setting」を選択

② 「Port Setting」にて RS-232 設定を行います。下記の通り入力ください。

Protocol: **RS232**　　Flow Control : **CTS/RTS（Hardware)**

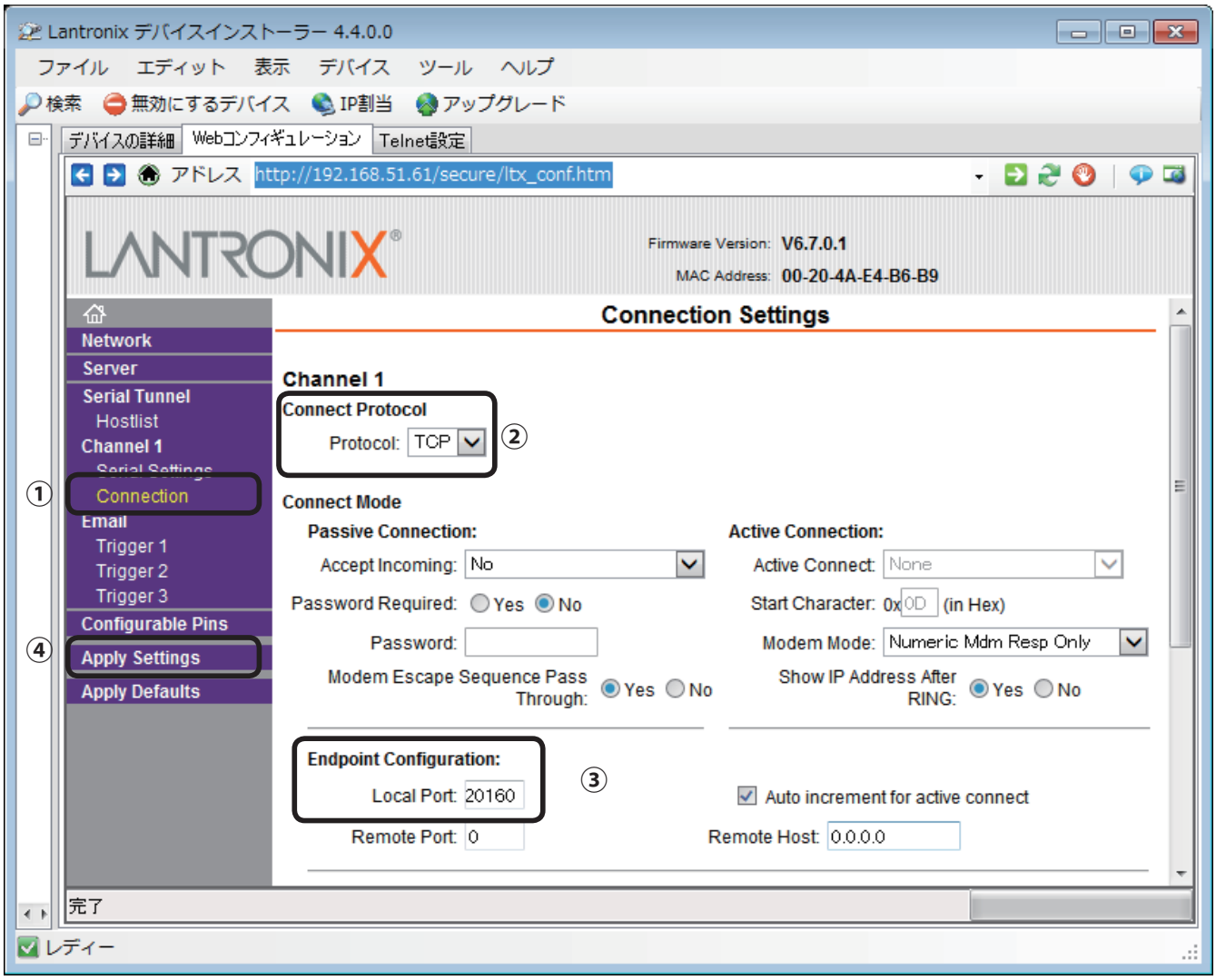
Baud Rate: **38400**　　Data Bits: **8**　　Parity: **None**　　Stop Bits: **1**

③入力後、最下部の**「OK」**を押した後、「Apply Setting」をクリックしますと、書換えが開始され、設定完了となります。次に TCP ポートの設定に移ります。

LAN の設定　～ TCP ポート設定～

「DeviceInstaller™」による設定方法　～ RS-232、TCP ポートの設定　続き～

TCP ポートの設定



①「Connection」を選択

②「Connect Protocol」で「TCP」を選択

③「Local Port」に**「20160」**を入力

④入力後、最下部の**「OK」**を押した後、「Apply Setting」をクリックしますと、書換えが開始され、設定完了となります。

以上の設定により、LAN 設定は完了です。

※ UDP 設定にすることによって、複数の表示端末にコマンドを一斉送信、メッセージの切り替えを行うことが出来ます。ポート番号を分けて設定すれば、グループ単位での運用も可能です。

お手入れのしかた

お手入れは、必ずコンセントから電源プラグを抜いて電源を切ってから行ってください。

表示ユニットは、見る角度によって色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも本製品の動作に影響を与える故障ではありません。あらかじめご了承ください。

●キャビネットの部分
・汚れは柔らかい布で軽くふきとってください。
　汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れをふきとり、乾いた布で仕上げてください。
・以下の事項に注意してください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
　- ベンジン、シンナーなどは使用しない
　- 殺虫剤など揮発性のものをかけない
　- ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない
●表示ユニットの部分
・表示ユニットの表面は、柔らかい布（レンズクリーナーやガーゼなど）で軽くからぶきしてください。硬い布でふいたり、強くこすったりすると、表面に傷がつくなどの原因となります。
・表示ユニットにほこりがついた場合は、市販の静電気除去ブラシ（除じん用ブラシ）をお使いください。
・表示ユニットの保護のため、ほこりのついた布、しめった布や化学ぞうきんでふきとらないでください。

お問い合わせ先

修理・使い方などのご相談・ご依頼、及び万が一、製品による事故が発生した場合は、ご購入の販売店、または下記までお問い合わせください。

●設定、取扱説明書に関するお問い合わせ先
☎0598-83-2364
（受付時間：平日 10:00 ～ 17:00）
E メール：　ipd@noritake-itron.jp

ご連絡の前に、以下の内容をご用意ください。
・品名：i-Catch Roll TCP Linker
・形名：IPD-011-LBSL
・シリアルナンバー
・お買いあげ日（年月日）
・故障の状況（できるだけ具体的に）
・ご住所
・お名前
・電話番号
・E メールアドレス

●故障、製品に関するお問い合わせ先
販売元：株式会社ノリタケカンパニーリミテド
製造元・営業代行：ノリタケ伊勢電子株式会社

●営業部　名古屋
〒 451-8501　名古屋市西区則武新町 3 丁目 1-36
TEL:052-561-9741　FAX:052-561-9780　（受付時間：平日 10:00 ～ 17:00）
●営業部　東京
〒 105-8502　東京都港区虎ノ門一丁目 13 番 8 号
TEL:03-6205-4424　FAX:03-3501-7313　（受付時間：平日 10:00 ～ 17:00）
● i-Products Gr.
〒 519-2736　三重県度会郡大紀町打見 670-5
TEL:0598-83-2364　FAX:0598-83-2349　（受付時間：平日 10:00 ～ 17:00）
●ホームページ：　http://www.i-products.jp/
● E メール：ipd@noritake-itron.jp
※ E メール、FAX は随時受け付けております。

主な仕様

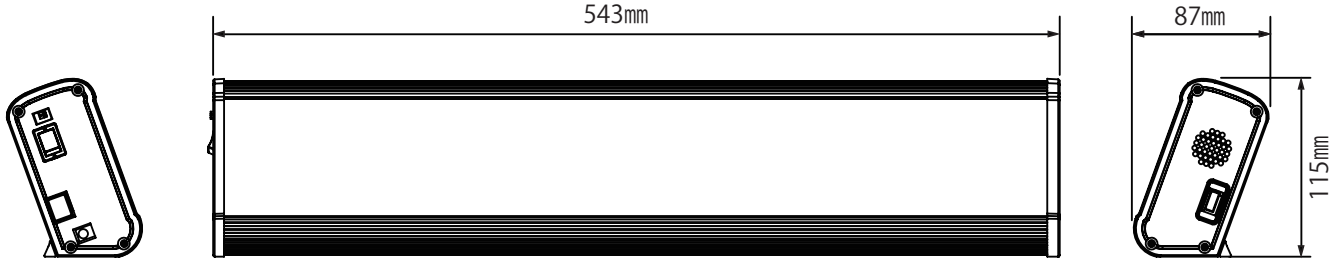
● 製品仕様

項目	内容
型名	IPD-011-LBSL
表示素子	LED バックライト搭載型、384x32 ドットグラフィック VFD
最大解像度（蛍光表示部）	384x32 ピクセル
表示文字数	12 文字 / ユニット
蛍光表示色	ブルーグリーン一色
画素ピッチ（蛍光表示部）	水平 1.2 mm x 垂直 1.6 mm
最大輝度（蛍光表示部）	700 cd/㎡　*1
表示画面サイズ	468.2 x 50.3 mm
インターフェース	USB、LAN
電源入力	AC アダプタ　AC100V　50/60Hz　機器自体は DC24V 入力
使用温度条件	0 ～ 40℃
使用湿度条件	40 ～ 80%（結露なきこと）*2
消費電力	約 20W / ユニット
外形寸法	寸法図参照
筐体材質	アルミ、ABS 樹脂
質量	約 2.3kg / ユニット

*1：輝度は経年により劣化します。一定の輝度を維持するものではありません。

*2：静電気に十分ご注意の上、ご使用ください。

●寸法図



単位：mm

アイ・キャッチロール TCP リンカー

取扱説明書

●初版発行日：2017 年 11 月

●第 1 版発行：2019 年 11 月

DS-1856-0810-01